

総 説

第3部 人づくりの推進

第1章 環境教育・学習の推進	48
第2章 環境情報の提供及び普及啓発	50
第3章 環境みやざき推進協議会を通じた取組の推進 .	52

第3部 人づくりの推進

第1章 環境教育・学習の推進

1 環境教育・学習の必要性

今日の複雑・多様化している環境問題に対処し、持続可能なライフスタイルや経済社会システムを実現するためには、県民一人一人が生活と環境との関わりについて理解と認識を深めるとともに、環境保全活動に参加する姿勢及び環境問題解決に資する能力が育成されることが重要です。

このため、幼児から高齢者までの各年齢層や家庭、学校、職場、地域などの様々な場に応じた環境教育や県民の自主的な環境学習を総合的に推進する必要があります。

2 エコ幼稚園（保育所）推進事業

次代を担う子ども達の環境に対する知識や理解を段階的に深め、環境に配慮した地球にやさしい行動ができるように、平成15年度から幼稚園、保育所での環境教育の取組を推進しています。

毎年10園程度の幼稚園、保育所を「エコ幼稚園（保育所）」指定園とし、年間を通して環境教育に取り組み、成果が認められた場合は、県の認定証を交付（認定園）します。

指定園・認定園には、宮崎県環境情報センターを通じて、教材等の情報提供や専門家の派遣、意見交換会等を実施し、活動を支援します。

平成24年度は、16の幼稚園、保育所を認定し、同年度末現在で、認定園は129となっています。

3 学校における環境教育の推進

各学校では、各教科や総合的な学習の時間をはじめ全ての教育活動を通して、環境に対する関心や環境問題についての理解を深め、よりよい環境を創造していく実践的な態度の育成を目指して環境教育に取り組んでいます。

平成9年度からは、環境教育をさらに幅広く推進するために、環境教育推進事業をスタートさせ、2か年ごとに小学校2校、中学校2校、県立学校1校の計5校を推進校として指定を行い、これらの推進校では、地域の実態や児童生徒の発達段階に応じて全教育活動を通して環境教育に取り組み、またその成果を他の学校に広めることにより、本県の環境教育の一層の推進を図っています。

さらに平成17年度からは、地域内の学校間の連携や環境教育に関係する地域の機関・団体との連携・協力を新たな研究内容に加え、指定期間もこれまでの2年から3年へと延長するとともに、指定校数も小学校4校、中学校4校、県立学校2校の計10校に増やしています。

ただし、平成20年度以降は、指定校を小学校3校、中学校3校、高等学校3校の計9校に減らしています。これは、平成17～19年度の取組の反省から、1校当たりの活動費が十分ではなかったため、学校数を絞り、活動費を増額することで重点化を図った取組を行うこととしたためです。

平成20年度からは、1校当たりの活動費が増えたことにより、予算の中で、外部講師の招へいや風力発電機の実物設置、日々の発電状況の観測等、より環境教育に重点的に取り組むことができるようになってきました。

平成23年度からは、それまでの取組に「リサイクル」「家庭との連携」「日常的な取組の発信」の視点を加え、学校・家庭・地域が一体となった環境教育のモデル的な実践を行う推進校8校を指定し、実践経過や実践後の成果をより県内に広げる取組を行っています。

4 環境保全アドバイザーの派遣

地域における環境学習を支援するため、平成5年度から、地域で開催される環境保全に関する学習会、講演会等に対して環境保全に関する専門的知識を有した「環境保全アドバイザー」を派遣しています。

アドバイザーの登録者数は平成24年度末現在で97名であり、平成24年度は、地域の学習会等に計100回派遣し、3,779名が受講しました。

5 こどもの環境学習事業

(1) 水生生物調査（水辺環境調査）

自然の音、自然の風景、水の透明度、水のおいしさ、水のきれいさ、水生生物を指標とした水辺環境調査は、平成18年度から実施しています。

平成24年度は、58団体（2,350名）の参加により50河川63地点において調査を実施しました。

(2) 全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）

大気保全への関心を高めるため、昭和62年度に実施されたスターウォッチング「星空の街」コンテスト（環境庁主催）を契機に、翌年度以降も継続観察が実施されています。県内では、平成24年度に6団体で延べ23人が観察を行っています。

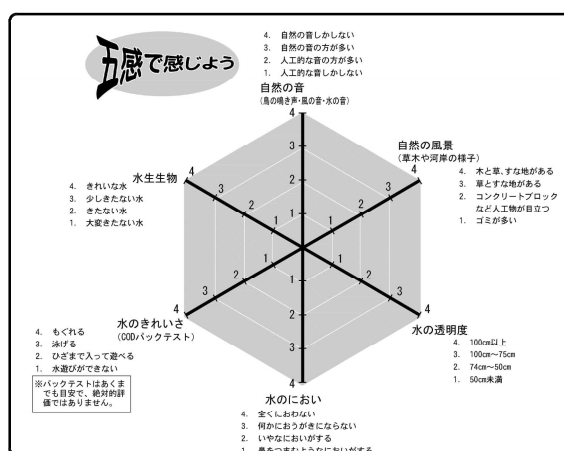
(3) こどもエコクラブ

環境省では、幼児から高校生を対象にした「こどもエコクラブ」事業を実施しています。平成24年度、本県では、27クラブ、689人が登録しています。

水辺を楽しんで調べよう！

ホームページ「ふるさとの水辺」
 (<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/5kan-mizube/>)

では、どなたにでも楽しんでできる
 水辺環境調査を紹介しています。



第2章 環境情報の提供及び普及啓発

1 環境情報センターの運営

県では、県民の自然や生活環境問題に関する知識・情報の普及や環境に関する学習や活動を支援する拠点として、平成3年8月に宮崎県環境情報センターを設置しました。平成18年7月には県立図書館内に移転し、同館と連携しながら、環境に関する情報の収集・提供、環境講座・出前研修の開催、環境保全アドバイザーの派遣等各種研修会への支援等の業務を行っています。

平成24年度のセンター利用者数は、21,900人となっています。

■所在地： 宮崎市船塚3-210-1 宮崎県立図書館1F
TEL：0985-23-0322 FAX：0985-26-4720
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center>
E-mail：kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp

2 環境月間及び環境の日の取組

平成3年度から6月を「環境月間」として設定し、国、地方公共団体、民間団体等により全国規模での各種の普及啓発事業が実施されています。さらに、平成5年11月に制定された環境基本法で、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心を高めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、6月5日が「環境の日」と定められました。

平成24年度の環境の日及び環境月間に、県が実施した主な行事は次表のとおりです。

環境月間に県が実施した主な行事（平成24年度）

行 事 名	概 要	参加(対象)	期 間
ノーマイカーデー	県民に広く通勤時のマイカー利用自粛等の呼びかけ	県民	6月1日 ～30日
環境の日キャンペーン	街頭で、啓発用チラシ、環境グッズ（環境にやさしい石けん、マイバッグ）等を配布	県内8か所	6月5日
ライトダウンキャンペーン	ライトアップ施設及び家庭における一斉消灯の呼びかけ	県内	6月21日 ～7月7日
環境月間に関する広報	ラジオ、テレビ、広報誌等による環境月間の周知・啓発	県民	6月中
〃	懸垂幕による環境月間の意識啓発	県庁舎 (7号館)	6月1日 ～30日
環境フェスタ	環境保全に関する講演会、事例発表、宮崎県地域環境保全功労者表彰式等	県民	6月22日

3 「ecoみやざき」の発行

環境に関する施策や話題、県内の環境保全の取組などを紹介した環境情報誌「ecoみやざき」を発行しています。平成24年度は、年3回、各8,000部発行し、学校や事業所、団体等に配布しました。

4 地域環境保全功労者表彰（県知事表彰）

県では、昭和55年から、地域の環境保全に関し、特に顕著な功労のあった個人や事業者を表彰しており、平成25年3月までに322の個人・団体を表彰しています。

平成24年度は、下記の3個人、8団体の皆さんが受賞し、6月22日に開催した環境フェスタにおいて表彰式を行いました。

【平成24年度受賞者】

区分名	個人・団体名	主な活動内容
個人	桑田 守	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月下旬から8月上旬にかけて、アカウミガメの保護と産卵地一帯の環境保全のため、風田・平山海岸一帯を巡回し、風田の孵化場や動きのとれなくなったウミガメの救出、障害物の除去等の活動を実施してきた。 ・東郷地区で小中学校を中心に行っているアカウミガメ見回り隊や風田浜の清掃活動で指導的役割を果たしており、学校からの要請を受け講演も行っている。
	宮田 スミ子	<ul style="list-style-type: none"> ・平成7年から宮崎みどり生活学校の会員として環境問題等の活動に参加。 ・平成16年に宮崎県地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受け以来、環境家計簿を記帳するとともに温暖化防止の活動に積極的に取り組んでいる。 ・宮崎県環境保全アドバイザーとしても、エコ関連の講座講師として活動している。 ・宮崎市環境教育指導者養成講座の講師としても活動している。
	永友 隆雄	<ul style="list-style-type: none"> ・JR九州吉都線京町駅が無人駅になったことを機に昭和60年4月より、京町第2高齢者クラブが中心となり駅清掃を始めた。 ・現在は、毎週日曜日駅舎内(待合室・トイレ)、駅前広場、ホーム、上下線のチリ拾い、花壇の花植栽及び除草作業をリーダーとなって率先して活動。 ・一昨年より京町自治公民館で立ち上げた『花とEMでうるおいのある町づくり』の会でも、区長をサポートしながら、活動の中心的役割を果たしている。
団体	やっちみろかい酒谷	<ul style="list-style-type: none"> ・国道222号線沿いの日南ダム、棚田周辺に小・中・高校生や地域住民が参加してソメイヨシノの植樹と維持管理を実施している(約20年間で約千本の植樹)。 ・同様に、地域住民が国道222号線沿いに約20年前からアジサイや彼岸花の手植え活動を行い、「アジサイロード」と呼ばれるようになった。 ・平成21年度からは、酒谷小3～6年生全員が所属する「酒谷みどりの少年団」がこの活動に毎年参加するなど、学校や地域を巻き込んだ環境美化の推進員ともなっている。
	古川高齢者クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・大字北川古川自治体には、真言宗、極楽寺があり、その寺の境内の脇にある室町時代に建立された「五輪塔」という墓石は、昭和53年に市の有形文化財に指定され、歴史愛好家や地元の小中学生の学術の場にもなっている。 ・「五輪塔」が有形文化財に指定された昭和53年度より地域の環境保全の一環として、毎月清掃活動を実施している。
	原無田自治公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の沿線道路脇に彼岸花を植栽し、彼岸花ロードを造っている。 ・毎年の植栽により現在の総距離は約5キロに達している。 ・毎年の植栽日には、海外・県外・県内市町村からも参加者があり、地区の子ども会、高齢者とともに植栽を行っている。 ・地区の子どもたちは、学校への登校時にビニール袋を持参し、学校までの道の空き缶拾いも実施している。
	地域づくりサークルわかあゆ	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡市内在住の大学生や会社員などの若者でつくる本団体が、環境美化を通して地域の絆づくりを目的に、毎月1回、市内各地で地域の子どもたちを巻き込んだクリーン作戦(清掃活動)を展開している。 ・延岡市内各地区の環境美化に貢献するとともに、地域の子どもたちが清掃活動に参加することで、子どもたちの健全育成にも寄与している。 ・毎年11月に開催する「すみえ世界村」(延岡市教育委員会主催)の企画運営に協力し、子どもたちの国際交流の促進にも貢献している。
	環境ボランティアグループ環の会	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県地球温暖化防止活動推進員として活動を進める中で、多くの人を巻き込む団体での温暖化防止活動の重要性を認識し、「環の会」を設立し団体での温暖化防止の活動を積極的にすすめている。 ・串間市との協働で温暖化防止活動の実施してきた。 ・せせらぎの森で遊びの基地作りを実施した。 ・「古里の恵 緑と食の感謝祭森のコンサート」や「ブラックイイルミネーション&廃油キャンドル作り講習会」等に取り組んだ。
	鶴戸さんをかっとしやる協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内を流れる「御手洗川」の浄化事業、水辺、川沿いの環境整備 ・地域における花づくり運動、植栽管理 ・その他、観光マップの作成や、歴史と神話のコース案内板の設置等により、鶴戸山を訪れた人が再来しやすい環境となることで新たな観光振興に結びつく。
	社会福祉法人愛育福祉会こぼと保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度エコ幼稚園認定。 ・牛乳パックやトイレペーパーの芯などの廃材、落ち葉などの自然物を利用して工作に取り組み、月に一度「環境コンクール」を開催して保護者に見ていただくなど、継続した取り組みを行っている。 ・ゴミの処理について学ぶために、実際に延岡市クリーンセンターを見学を訪れるなど、積極的に環境学習に取り組んでいる。 ・家庭や地域と協力しながら、ペットボトルの蓋収集や空き缶収集を行っている。
	宮崎大学教育学部附属幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度エコ保育園認定。 ・「点けたら消す」「開けたら閉める」などの簡単な合言葉をもとに、日常生活において節水・節電の取り組みを習慣づけている。 ・夏休みには、家庭でもエコ活動に取り組んでもらい、実施結果を報告するなど親子でのエコ活動の推進にも取り組んでいる。 ・ペットボトルキャップを回収し、ワクチンに代える事業に参加し、1年間に54キロ、13人分のワクチンを届けることができた。

第3章 環境みやざき推進協議会を通じた取組の推進

平成17年4月に、県民・事業者・行政等が協働して、地球温暖化防止等に関する様々な取組を展開し、その活動を普及させることにより、地域から地球温暖化防止活動を中心とした環境保全に寄与することを目的に設立した「環境みやざき推進協議会」は、平成24年度は以下の取組を実施し、会員をはじめとした県民等の環境保全活動の実践を推進しました。

1 地球温暖化対策に関する取組

(1) 家庭における取組の推進

- ・各家庭で取り組める省エネ活動の実践例等の紹介と普及促進

レジ袋使用削減のために一般県民を対象にクラフトバック作成講座を開催し、マイバックの普及・啓発を行いました（県民27名参加）。また、環境省主催の「ライトダウンキャンペーン2012」に合わせて、待機時消費電力の節減運動を行いました。



エコアクション21事業所体験セミナー



クリーンアップ宮崎

(2) 事業所における取組の推進

- ・クールビズ及びウォームビズの推進

啓発ポスターを制作しホームページ上で公開し、会員に対して取組を呼びかけました。

クールビズには82会員が、ウォームビズには65会員が取り組みました。

- ・エコドライブの推進

交通エコロジー・モビリティ財団が主催する「エコドライブ活動コンクール」に合わせて会員へ積極的な取組を依頼し、エコドライブの実践に取り組みました。

2 自然環境の保全に関する取組

- ・県民総ぐるみで行う環境美化活動「クリーンアップ宮崎」の実施

環境問題に対する県民意識の高揚を図るとともに、県民が一体となった美しい環境づくりを推進するため、市町村や自治会、事業所等と連携し、毎年11月第2日曜日に県下で一斉に実施しています。

平成24年度は、11月11日を中心に実施し、県内26市町村で、約107,228人が参加し、公園や水辺等の公共の場の清掃や樹木・草花の植栽並びに居住地周辺の清掃等を実施しました。

3 啓発情報誌「ecoみやざき」の発行

環境保全に関する制度やイベント、トピックス等の情報を掲載し、7月、9月、1月の年3回、各8,000部発行しました。

4 会員数(平成25年3月末現在)

517個人/団体	[内訳]	個人	207
		NPO法人	31
		各種団体	55
		各種学校等	23
		民間事業者	165
		県・市町村関係	36

啓発情報誌「ecoみやざき」

平成24年度は、第84号から第86号を発行しました。

